



報道関係各位

2023年8月31日
「夢・化学-21」委員会
公益社団法人日本化学会

「化学グランプリ 2023」各賞受賞者が決定！

「夢・化学-21」委員会*と日本化学会は、8月29日(火)～30日(水)に「化学グランプリ 2023」(通称：化学の甲子園)の二次選考を実施し、大賞および各賞の受賞者を選出いたしました。大賞を受賞したのは以下の5名です。

八木 好誠 (ヤギ コウセイ)	灘高等学校 (兵庫県)	3年
有水 大世 (アリミズ タイセイ)	ラ・サール高等学校 (鹿児島県)	3年
土海 孝太 (ドカイ コウタ)	鳥取県立米子東高等学校 (鳥取県)	3年
斎藤 健太 (サイトウ ケンタ)	灘高等学校 (兵庫県)	1年
神谷 洸希 (カミヤ コウキ)	栄光学園高等学校 (神奈川県)	3年

二次選考には81名が参加し、大賞5名のほか、15名が金賞、20名が銀賞、41名が銅賞に選ばれました。大賞以下、各賞の受賞者につきましては、添付の参考資料をご覧ください。

化学グランプリは、全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に、1999年より開催しています。一次選考は7月17日に全国の会場でマークシート形式の試験で2,884名が参加しました。二次選考は実験を伴う記述式試験で8月29日～30日にかけて開催され81名が参加しました。

また本年は特別賞として以下の3賞を設け表彰いたしました。

日本化学会特別賞

八木 好誠 (ヤギ コウセイ) 灘高等学校 (兵庫県) 3年

「夢・化学-21」委員会特別賞

祖父江 誠悟 (ソフエ セイゴ) 徳島市立高等学校 (徳島県) 3年

工学院大学学長賞

加藤 学 (カトウ ガク) 武蔵中学校 (東京都) 3年

◆国際化学オリンピックへの生徒派遣について

世界約80ヶ国・地域の高校生が化学の実力を競い合う『国際化学オリンピック』の日本代表は、化学グランプリで優秀な成績を収めた生徒を中心に選出されます。来年7月の『国際化学オリンピック』は第56回大会がサウジアラビア・リアドでの開催が予定されています。今年も国際大会に向けて、本グランプリに参加した中学3年生・高校1・2年生の生徒から20名程度を代表候補生徒として認定し、代表候補生徒全体の中から、選抜試験を経て代表生徒を決定する予定です。

*「夢・化学-21」委員会は公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

お問い合わせ先

公益社団法人日本化学会 : 大倉、日置 TEL 080-7398-0468 grand-prix@chemistry.or.jp
一般社団法人日本化学工業協会 : 山縣 TEL 03-3297-2555 yumekagaku@jcia-net.or.jp

<参考資料>

各賞受賞者

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
大賞 5名	八木 好誠	ヤギ コウセイ	兵庫県	灘高等学校	3年
	有水 大世	アリミズ タイセイ	鹿児島県	ラ・サール高等学校	3年
	土海 孝太	ドカイ コウタ	鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	3年
	斎藤 健太	サイトウ ケンタ	兵庫県	灘高等学校	1年
	神谷 洸希	カミヤ コウキ	神奈川県	栄光学園高等学校	3年
金賞 15名	飯野 拓人	イイノ タクト	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	2年
	井戸沼 悠成	イドヌマ ユウセイ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	1年
	岩永 龍樹	イワナガ リュウキ	神奈川県	桐光学園高等学校	3年
	海老原 周作	エビハラ シュウサク	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年
	岡田 溪生	オカダ ケイセイ	神奈川県	聖光学院高等学校	3年
	加納 怜	カノウ レイ	広島県	広島学院高等学校	3年
	佐藤 賢之介	サトウ ケンノスケ	福島県	会津若松ザベリオ学園高等学校	3年
	祖父江 誠悟	ソフエ セイゴ	徳島県	徳島市立高等学校	3年
	高原 康介	タカハラ コウスケ	福井県	福井県立藤島高等学校	2年
	塚本 剛永	ツカモト マサナガ	東京都	東京都立桜修館中等教育学校	3年
	福山 月	フクヤマ アカリ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	増井 雄大	マスイ ユウダイ	京都府	京都府立洛北高等学校	3年
	松山 響希	マツヤマ ヒビキ	東京都	桜蔭高等学校	3年
	山口 輝大	ヤマグチ テルヒロ	愛知県	愛知県立明和高等学校	3年
	立宅 優来	リッターク ユラ	兵庫県	白陵高等学校	3年
銀賞 20名	揚妻 慶斗	アゲツマ ケイト	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	3年
	安積 知史	アヅミ サトシ	兵庫県	白陵高等学校	3年
	荒井 文	アライ フミ	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	3年
	石井 智貴	イシイ トモキ	兵庫県	灘高等学校	2年
	今村 龍碩	イマムラ タツヒロ	神奈川県	中央大学附属横浜高等学校	3年
	大木 琥太郎	オオキ コタロウ	東京都	武蔵高等学校	3年
	乙部 遊真	オトベ アスマ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	木戸 悠太	キド ユウタ	東京都	渋谷教育学園渋谷高等学校	3年
	小島 悠起緒	コジマ ユキオ	東京都	麻布高等学校	3年
	佐藤 諒一	サトウ リョウイチ	北海道	北嶺高等学校	3年
	新保 隆太	シンボ リュウタ	福島県	福島県立福島高等学校	3年
	鈴木 亜麻音	スズキ アマネ	神奈川県	洗足学園高等学校	2年
	竹内 悠人	タケウチ ユウト	大阪府	大阪星光学院高等学校	3年
	田中 泳州	タナカ エイシュウ	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	2年
	趙 雨軒	チョウ ウケン	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	3年
	中尾 優太	ナカオ ユウタ	大阪府	桃山学院高等学校	3年
	村松 汰一郎	ムラマツ タイチロウ	東京都	東京都立桜修館中等教育学校	3年
	山口 歩	ヤマグチ アユム	埼玉県	埼玉県立大宮高等学校	3年
	山口 莉奈子	ヤマグチ リナコ	東京都	桜蔭高等学校	3年
	山本 裕貴	ヤマモト ユウキ	埼玉県	栄東高等学校	3年

賞	氏名	フリガナ	学校所在地	学校名	学年
銅賞 41名	相澤 誠宏	アイザワ マサヒロ	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	2年
	東 由佳莉	アズマ ユカリ	広島県	広島大学附属高等学校	3年
	天谷 凜太郎	アマヤ リンタロウ	福井県	福井県立藤島高等学校	3年
	梅原 真一	ウメハラ シンイチ	京都府	京都府立洛北高等学校	3年
	應本 樹	オウモト タツキ	東京都	海城高等学校	3年
	大城 義和	オオキ ヨシカズ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	大久保 遙華	オオクボ ハルカ	東京都	桜蔭高等学校	3年
	太田 晴	オオタ ハル	青森県	青森県立弘前高等学校	3年
	大沼 拓実	オオヌマ タクミ	神奈川県	栄光学園高等学校	2年
	柏木 亮哉	カシワギ リョウヤ	神奈川県	栄光学園高等学校	3年
	加藤 学	カトウ ガク	東京都	武蔵中学校	3年
	川端 大翔	カワバタ ヒロト	神奈川県	神奈川県立多摩高等学校	3年
	喜友名 寿斗	キユナ カズト	沖縄県	昭和薬科大学附属高等学校	3年
	工藤 晃平	クドウ コウヘイ	大阪府	大阪府立三国丘高等学校	3年
	黒田 伊織	クロダ イオリ	奈良県	東大寺学園高等学校	3年
	後藤 宏将	ゴトウ ヒロマサ	熊本県	熊本県立熊本高等学校	3年
	近藤 亮輔	コンドウ リョウスケ	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	3年
	斉木 崇希	サイキ ソウキ	山梨県	山梨学院高等学校	3年
	佐々木 慧	ササキ ケイ	兵庫県	灘高等学校	2年
	佐藤 伸	サトウ シン	埼玉県	さいたま市立浦和高等学校	2年
	里見 恭輔	サトミ キョウスケ	長野県	佐久長聖高等学校	3年
	鈴木 海聖	スズキ カイセイ	兵庫県	灘高等学校	3年
	武本 昇大	タケモト ショウタ	東京都	麻布高等学校	3年
	田辺 峻望	タナベ シュンボウ	東京都	筑波大学附属駒場高等学校	2年
	谷口 隼	タニグチ ハヤト	大阪府	大阪府立天王寺高等学校	3年
	檀浦 康介	ダンウラ コウスケ	岡山県	岡山白陵高等学校	3年
	千葉 真之介	チバ シンノスケ	神奈川県	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	2年
	徳永 沙羅	トクナガ サラ	福岡県	久留米大学附設高等学校	3年
	飛田 直樹	トビタ ナオキ	愛知県	愛知県立旭丘高等学校	3年
	中島 綾香	ナカシマ アヤカ	東京都	桜蔭高等学校	3年
	中嶋 勇仁	ナカジマ ユウト	東京都	麻布高等学校	3年
	中村 敬久	ナカムラ タカヒサ	山口県	山口県立山口高等学校	3年
	橋本 直輝	ハシモト ナオキ	千葉県	昭和学院秀英高等学校	3年
	堀越 萌加	ホリコシ モエカ	東京都	豊島岡女子学園高等学校	3年
	保呂 悠人	ホロ ユウト	兵庫県	白陵高等学校	3年
	松元 洗樹	マツモト コウキ	東京都	東京都立小石川中等教育学校	3年
	水谷 霧都	ミズタニ キリト	山梨県	山梨県立甲府東高等学校	3年
	毛利 嘉宏	モウリ ヨシヒロ	東京都	暁星高等学校	3年
	楊 弘毅	ヤナギ ヒロキ	神奈川県	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	3年
	山本 夏暉	ヤマモト ナツキ	京都府	京都府立洛北高等学校	3年
	米田 賢史	ヨネダ ケンシ	東京都	麻布高等学校	3年

◆国際化学オリンピック IChO(=International Chemistry Olympiad)

1968年に東欧3カ国(ハンガリー、旧チェコスロバキア、ポーランド)が始めた高校生の学力コンテストから発展した、1年に1度開催される高校生の「化学」の国際大会。今年は4年ぶりに現地に赴いての試験ならびに国際交流をすることができました。

大会は通常、毎年7月に10日間開かれ、それぞれ5時間に及ぶ実験課題と理論問題が出題され個人単位で競われます。成績優秀者には金メダル(参加者の1割)、銀メダル(同2割)、銅メダル(同3割)がそれぞれ贈られます。

日本は2003年のアテネ大会より参加しており、2004年のドイツ・キール大会から毎年連続で参加生徒全員がメダルを獲得しています。

2010年に国際化学オリンピックを日本・東京で初めて開催し、2021年に日本で2回目の国際化学オリンピックを開催しました。

◆「夢・化学-21」委員会について

「夢・化学-21」委員会*は、化学の啓発と化学産業の社会への貢献の理解促進を目的に1993年に発足しました。同委員会では、日本の将来を担う小中高生を主な対象とした活動を展開。化学グランプリのほか、化学の面白さや不思議さを通じて、化学技術の重要性や化学製品の有用性を知ってもらうため「子ども化学実験ショー」や、「なぜなに?かがく実験教室」などの実験体験活動などを行っています。

※公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人新化学技術推進協会、一般社団法人日本化学工業協会の4団体で構成

「夢・化学-21」ウェブサイト <https://www.kagaku21.net>